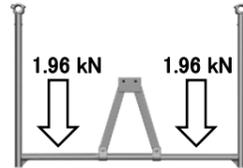
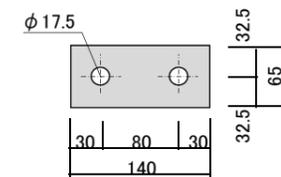


- 1) SRC造のボルト締め、配筋作業の安全通路となる製品です。チェーンとパイプによる吊足場に代わるものです。
- 2) 鋼製布板、長尺足場板などを利用できます。
- 3) 組立てを地上で行いますので安全です。
- 4) 部材が少なく軽量ですので取扱いが容易です。

許容荷重
片側 1.96 kN
両側 3.92 kN



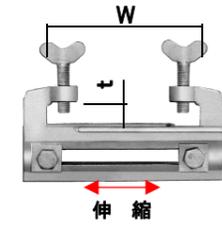
取付ピース SH-02 0.5 kg



ボルト SH-01HT M 16 × 45HT

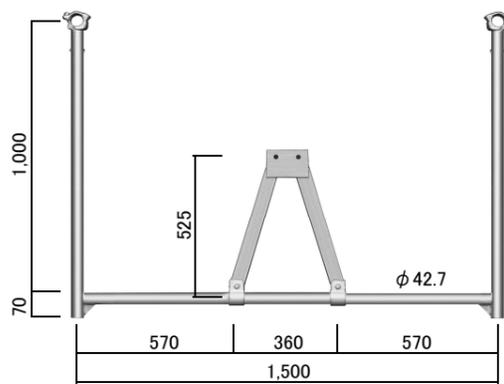
ボルト SH-03 M 12 × 45HT

取付金具

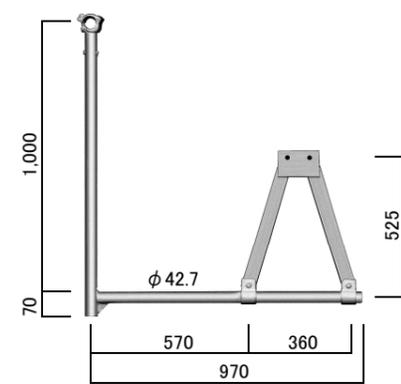


品番	使用範囲		重量 (kg)
	W (mm)	t (mm)	
SH-200	100~190	17 以下	2.0
SH-300	150~290	22 以下	2.5
SH-500	250~490	42 以下	4.0

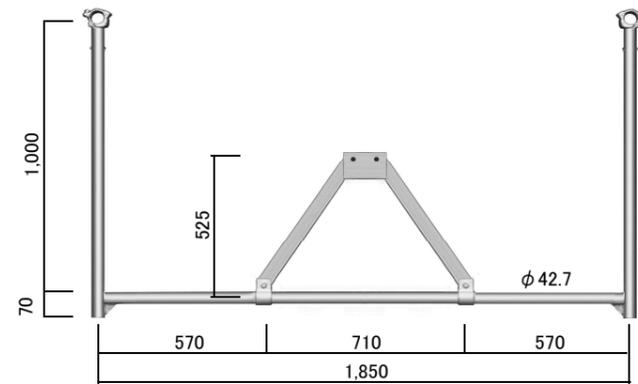
パイハンガー SH-1015L 15.5 kg



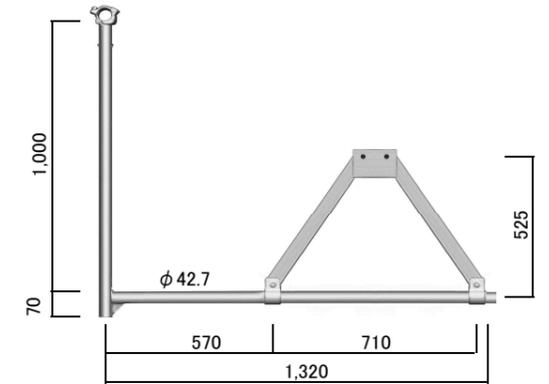
片ハンガー SH-1015LS 10.8 kg



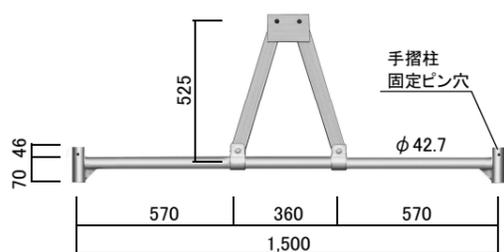
パイハンガー SH-1018L 17.0 kg



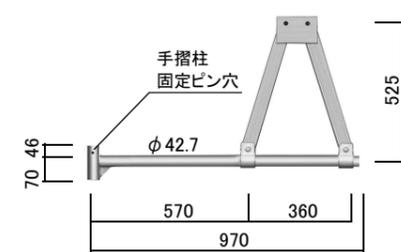
片ハンガー SH-1018LS 12.3 kg



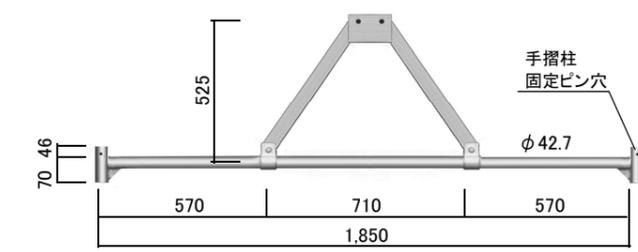
水平ハンガー SH-1015LT 9.5 kg



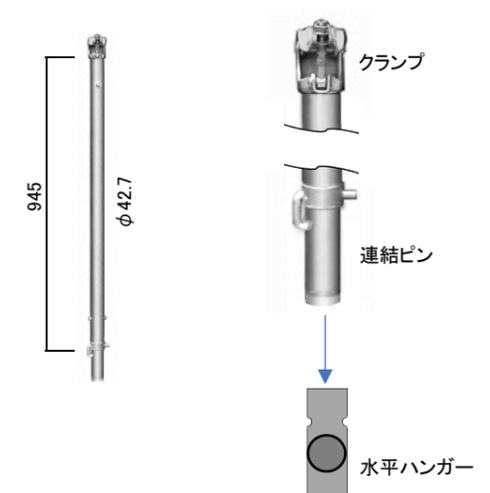
水平片ハンガー SH-1015LST 7.8 kg



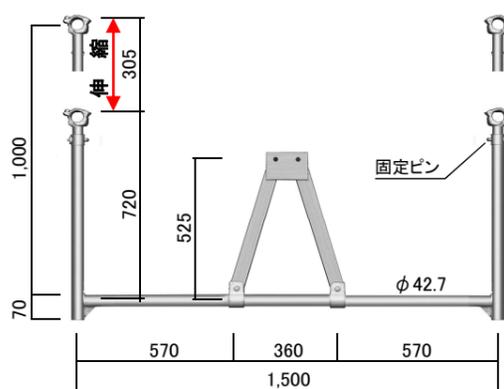
水平ハンガー SH-1018LT 11.0 kg



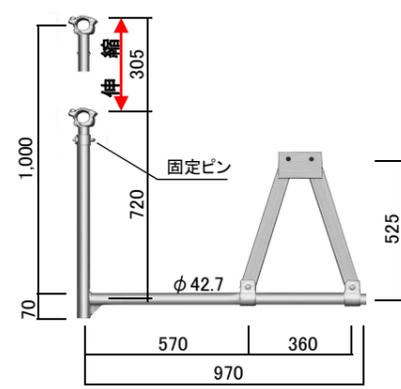
水平ハンガー用手摺柱 SH-P1 3.5 kg



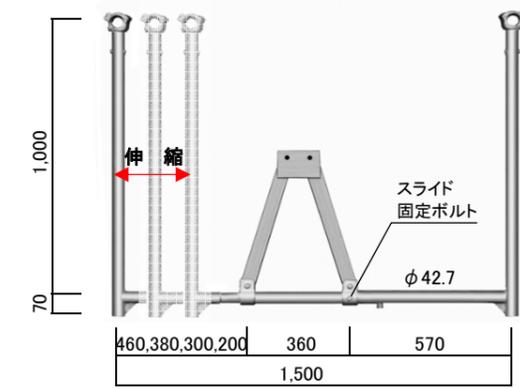
伸縮手摺ハンガー SH-1015Z 15.5 kg



伸縮手摺片ハンガー SH-1015ZS 10.8 kg

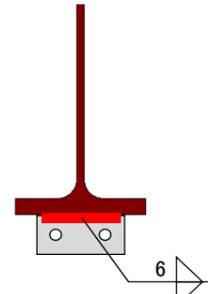


スライドパイハンガー SH-2046Z 17.2 kg

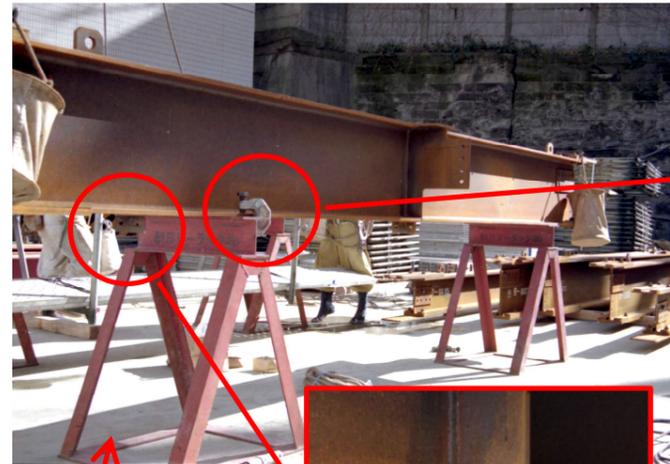


■ 使用手順

- ① 計画
 パイハンガーの割付間隔は1.8m以内とする。(但し、インチサイズ鋼製布板を使用の場合は1.829m以内)
 鉄骨フランジの継手板の障害にならぬように割付ける。
 柱の配筋、型枠作業の障害にならぬように割付ける。
 柱回りにおいて隣接するパイハンガー同士が干渉しないように割付ける。
 1本の梁に2ヶ所以上のパイハンガーを取付ける。
 (足場を部分的に地組し、鉄骨上で使用する足場材を荷揚げするため)
- ② 取付ピースの溶接
 鉄骨加工工場にて割付計画に基づき取付ピースを溶接する。
 取付金具: 取付ピースの溶接漏れに対応に数個用意しておく。
- ② 取付ピースの溶接
 パイハンガー架台に鉄骨梁を仮置きし、ボルトでパイハンガーを取付ける。
 パイハンガー架台と鉄骨梁はロックマン等で転倒防止をする。
 足場板、手摺パイプ等を地組する。
 鉄骨上で使用する足場材を載せ落下防止をする。



1. パイハンガー架台に鉄骨梁を仮置き



パイハンガー架台



ロックマンで固定



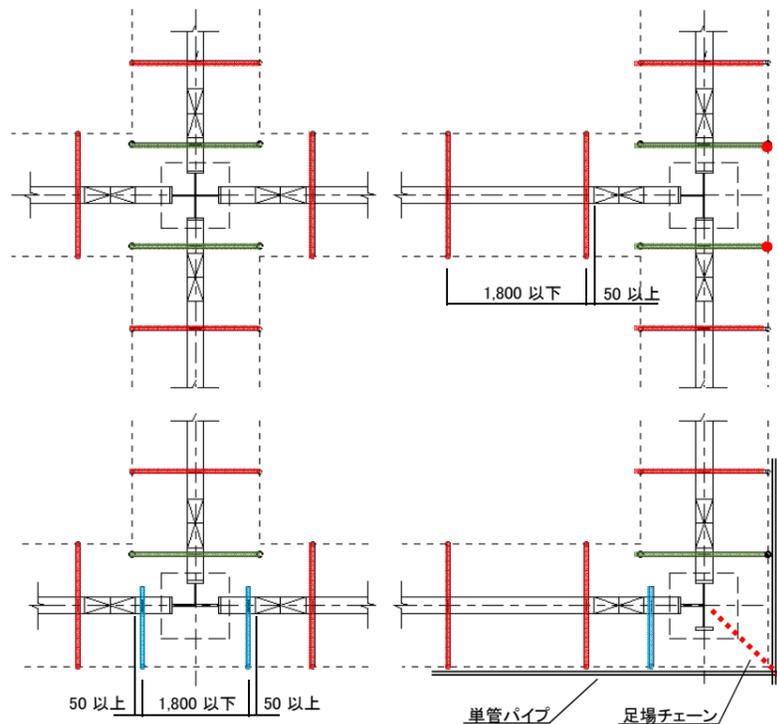
取付ピース

2. ボルトでパイハンガーを取付ける



ボルト
取付ピース
パイハンガー

■ 割付例



- パイハンガー
- 片ハンガー
- 水平ハンガー
- 水平ハンガー用手摺柱

3. 足場を地組し、鉄骨上で使用する足場材を載せる



4. 吊上げる

